

働く男のライフスタイル情報紙

# BizLifeStyle

# 2017 03

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイルスポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



## THE NEW BMW 5 SERIES SEDAN.

「駆けぬける歓び」の体験。ニュー BMW 5シリーズを試乗する。

昨年、100周年を迎えたドイツの巨星、BMW。自動車メーカーに期待できる「信頼」と「賞賛」を身に浴び続けてきた、説明不要の名門。同国が誇るアウトバーンで、育まれた「自動車への知見と想い」を軸に、休むことなく磨き上げてきたパッケージバランスの素晴らしさは、2010年代も後半に入っただけいよいよ極まってきた印象だ。

優れたエンジン&足回り性能と、長時間運転時の疲れまで計算に入れたドライバーサポート機能。絶え間なく新技術を開発し続けるセーフティ機構と、エコノミカルでクリーンな社会を先導する環境性能。あの気品に満ちあふれたスタイリングを犠牲にすることなく、これらのすべてをエンジンアライメントとクラフトマンシップで最先端へと導くという企業姿勢は、世界の自動車業界の模範的な存在だ。

近年は、あらゆる要素を統合して「駆けぬける歓び」というコンセプトワードを掲げ、さらに高みを目指すBMW。そんな中で、今年1月にフルモデルチェンジし発売されたニューBMW 5シリーズが話題をさらっている。運動性能、快適性能からネットワークまで、最新プレミアムセダンの実力やいかに。実際に試乗してみたので、一般の視点から簡単にレポートしてみた。



BMW 正規ディーラーの「ヤナセBMW」が、年度末の商談会を開催中。本紙読者特典もあり。詳しくは次ページから。



My Favorite Life Style

# New BMW 218d xDrive Active Tourer



BMWの世界観を大きく広げた人気の2シリーズ アクティブツアラー/グランドツアラー。「セカンドカーにBMW」という選択さえ実現することになるとは、誰が想像しただろうか。

# THE NEW BMW 5 SERIES SEDAN.



フルモデルチェンジで重量が80kgほど軽量化されたニュー BMW 5シリーズ。50:50を徹底する車両バランスの素晴らしさと相まって、「駆けぬげる喜び」が際立った形だ。

## 「駆けぬげる喜び」を、もっと多くの人々へ。



欧州ではピープルムーバーの呼称で人気高い「3列シート」のBMW「2シリーズ」。



車体の挙動から駆動トルクを最適化する「BMW xDrive」などの先進技術にも注目。

気軽に買い物へ、家族でドライブへ。裾野が広く拡大するBMWの「駆けぬげる喜び」。

大満足となった試乗の後は、上質なショールームで寛ぎながら、渡邊氏とのBMW談義。カーマニアほど詳しくないことや日常での使い方を伝える他のおすすめ車種を尋ねると、いくつかリストアップしてくれた。

まずは、他ブランドからの乗り換えユーザーが非常に多いという、2シリーズのアクティブツアラー。BMWブランドとしては初となるF.F.全輪駆動車として話題を呼んだモデルで、子育て世代なら入乗りのミッドレンジ的な使い勝手を楽しむ人も多いとのこと。BMWをミッドレンジで「出す」と、渡邊氏は現在のBMWは、ラインナップが極めて豊富なんです(と)解説してくれた。察するところ、リリースした気分の休日にも最適といたしたのだろうか。

次に、同じく2シリーズから7人乗りのグランドツアラー。渡邊氏の現場感覚では、憧れた未だ購入する「最初のBMW」として、国産のファミリーカーからシフトする層が目立つという。いわゆるクロスオーバーSUVに近く、価格的に十分に手が届く範囲とあって、運転とともに「家族の移動」を楽にコントロールして適しているという。

重厚な外観やラグジュアリーな内装など、オーナーになる満足感は継承されているとのこと。それでも「あのBMWであること」を誇る人は、ラインナップの多様性に驚かすという。

エンターテインメント系では、最近話題のプレミアムコンパクト「BMW X1」は、その大きさから、渡邊氏によれば、現行モデルは日本発売から1年以上を経た今も非常に人気が高く、昨秋にはクリーンエネルギーエンジン搭載モデルが投入されたばかり。前回の車種と共通の前輪駆動車では、車高は高めかつスペースは広めなので、居住性を重視するならば候補。同社SUV車の中では最もヘビーシックなモデルとなるが、その分、扱いやすさは特筆もので、日常使いのBMWとしておすすめ。つまり「評判通り」のことだ。

BMWと言えばセレブリティのプレミアムカー。その位置づけは今も変わらないのだが、それ以上に、万人に対して駆けぬげる喜びを届けるべく、裾野が大きく拡大されたというのが、現在の実像であるようだ。

各地のショールームでは、丁寧に「BMWの世界」へとエスコートしてくれる。価格面で魅力的な車種も意外に多いので、ぜひ試乗をおすすめしたい。

## 多様性を増す「BMW」の世界観。



インテリジェントなサービスやアプリが快適な通中をサポートしてくれる先進技術。BMWコネクテッド・ドライブサービス。



ヤナセ世田谷支店 セールスコンサルタント 渡邊 浩幸氏

「世界で最も成功したビジネスセクター」とBMW本社が胸を張る「BMW 5シリーズ」は、噂はたびたび耳にしていたので、場所はやナセBMW世田谷支店。試乗車は50i。最高出力190psを誇るDOHCターボエンジン搭載のドライバーモデルだ。試乗にあたって、同店セールスコンサルタントの渡邊浩幸氏から事前レクチャーを受け、受容力の高い5シリーズの「駆けぬげる喜び」の魅力を改めて感じた。

5シリーズは「3シリーズ」の拡張版と認識していたのだが、「むしろ5シリーズを乗りやすくしたモデル」とのこと。確かに、7代目となる今回のフルモデルチェンジでは、全長や全幅、ラゲージの容量などが若干拡大されている。また、静止状態から時速100kmまでの加速も、前モデルの8.1秒から7.5秒とさらに強力になった。氏の指摘通り、実車を見て5シリーズのイメージに近いように思う。

アクセルを踏むと、力強い発進に気持ちグッと昂る。加速は実にスムーズで、青信号が続くと気持ちよく吹き上がるエンジン音が耳をくすぐる。内装の豪華さもあって乗り心地は高級車そのものだが、足回りは程よい硬さで、スポーティな印象だ。走行中は、ディーゼルであることに完全に忘れてしまった。

最も驚いたのが、車体の追従性だ。全長4945mmと聞いて最初は「扱えるだろうか」と思ったが、サスを気にしたのでは発進直後のステアリング操作時だけだった。思い通りにキビキビと切れ込むノーズは、特に交差点で体感できる。過度に慎重になる必要がなく、コーナーの頂点からシームレスに次の加速へと向かえるのだ。連発の動作の間、車体が任せおきなさいと伝えてくるような、不思議な安心感。車との一体感とは、こういう感覚を指すのだろうか。

先行車に追従するタイミングがクルーズコントロール、駐車場の管理システムとの連携で自動駐車を実現するリモートコントロールパーキング(オプショナル)など、最先端技術の数々も試した。もちろん、なかなかたが、とにかく運転が楽しく、もっとスピードを出したいとウズウズしていたのが正直なところだ。

ショールームに戻り、興奮気味に感想を渡邊氏に伝えると、深く頷いてくれた。5シリーズは、運転を楽しむ方々のための車なんです。現代のプレミアムセダムの実力をまざまざと見せつけられる思いでした。

ビジネスアスリートのためのプレミアムセダン。ニューBMW 5シリーズを本紙編集長が試乗。



# New BMW X1 xDrive 18d

リーズナブルな価格設定で世界の自動車ファンを驚かせたX1。ベーシックなタイプとは言え、他ブランドとは一線を画す高級感は健在。



豪華な内装、満載の先進機能を使いやすくとめたレイアウトも、さすがにBMW。なお、ディーゼルであることを忘れるエンジン音の心地よさも特筆しておきたい。



My Favorite Life Style

「駆けぬける喜び」を気軽に体験できる  
全国のヤナセ BMW のショールーム。



ゆったりとしたショールームに流れる、穏やかで安らいだ空気。取材であることを半ば忘れて試乗後も長居してしまっただが、ヤナセ BMW の各支店では、いつ訪れても心地よいと感じる空間づくりが徹底されている。

新車ショールーム、アプルーブドカーセンター、サービス工場、サービスセンター。BMW 正規ディーラーとして、新車・中古車販売とサービス現場の緊密なネットワークを確立したヤナセ BMW だが、対応力は年々磨かれています。たとえば、24時間以内に準備可能な BMW 純正パーツは、約96%に達するとか。また、BMW のドイツ本社と同じカリキュラムの教育を受けた専門メカニックが在籍し、いつでも車を診てくれる。日本車購入時と変わりない感覚か、あるいはそれ以上のホスピタリティ。これこそ、同社の信頼のゆえんだ。

最新技術を駆使した車と、世界基準のサービス体制。BMW が標榜する「駆けぬげる喜び」は、この二つが揃ってこそ実現する。試乗の楽しさもさることながら、前ページのセールスコンサルタントのエスコートを含め、素晴らしい車を支える人々の姿が印象的な体験取材となった。

## Yanase BMW 期末大商談会 開催中!

開催期間  
2017年3月17日(金)~26日(日)

ビズスタ特典

上記の期間中、本紙をご持参の上でご試乗いただいた方に、どちらかおひとつをプレゼント!



BMW ロゴ入り  
オリジナル USB メモリー・スティック

高級感あふれるロゴ入りのUSB メモリー・スティック。メモリー内にはオリジナルのデムービー入り。

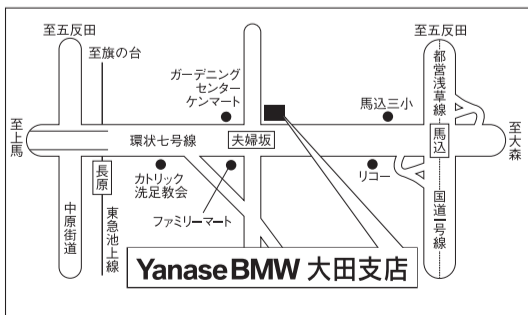


ニュー 5シリーズ型  
オリジナル 無線マウス

ニュー 5 シリーズを1/43サイズで再現! 使用時は前後のLEDランプが点灯する凝った造り。

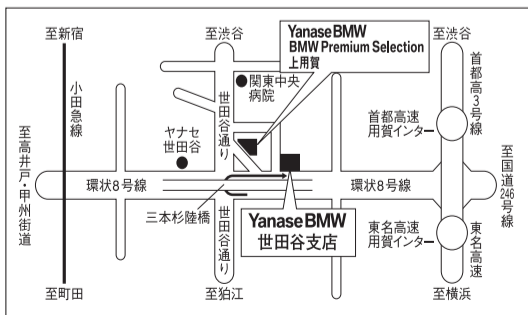
この季節は、ふだん手が届かずにいた新しい世界へと踏み出す大きなチャンス。というわけで、全国のヤナセ BMW の各ショールームでは、年度末の大商談会を開催中だ。憧れのBMW を吟味するには格好の機会だが、加えて期間中には本紙読者への試乗プレゼントも用意してくれた。BMW のロゴ入りUSBメモリー、ニュー BMW 5シリーズをかたどったワイヤレスマウス。オリジナルアイテムで数に限りがあるので、早めに下記ショールームにて試乗を。本紙の持参もお忘れなく。

●本紙がプレゼントの引換券となります。大変お手数ですが、ご来場の際は本紙をご持参ください。 ※プレゼントはお一組様にどちらか一つとさせていただきます。数に限りがございますので品切れの際はご容赦ください。



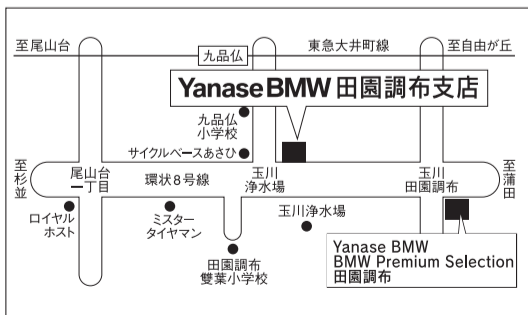
大田支店

〒143-0021 大田区北馬込 1-16-8 TEL.03-3772-1771



世田谷支店[BMW i 販売店]

〒158-0098 世田谷区上用賀 6-20-7 TEL.03-5451-7011



田園調布支店

〒158-0083 世田谷区奥沢 6-3-5 TEL.03-3703-4611